大項目	審査項目	審査内容	配点
事業者評価	1 導入実績	▶ 地方公共団体や医療機関への十分な導入実績を有しているか	20
	2 業務実施体制	▶ 導入作業の責任者・担当者が適切に配置され、役割が明確となっているか ▶ 市との連絡体制が速やかに行える信頼性の高いものとなっているか	20
提案内容	3 操作性・使い勝手	▶ 画面の視認性が高く、感覚的に操作が可能な仕様となっているか ▶ システムの画面遷移がわかりやすい構成となっており、配色や文字のフォントが統一感のある仕様となっているか	40
	4 業務の効率化	▶ 医療従事者の負担軽減になるような機能が付与されているか ▶ 入力漏れや不備があった際に、エラー箇所が明示されるなど、誤入力を防止する機能が付与されているか	30
	5 帳票の出力機能・テンプレート設定	▶ 診断書や診療情報提供書の帳票作成が、電子カルテ画面で容易に作成できるか ▶ 帳票のテンプレート設定作業までが含まれる提案となっているか	30
評価内容	6 セキュリティ対策	▶ 外部からの侵入、情報漏洩などのセキュリティ対策は十分か ▶ クラウド上の診療データは、容易にバックアップできる体制を確保しているか	30
	7 運用・保守	▶ 本稼働後の保守体制やサポート範囲は適切か ▶ 2年毎の診療報酬改定にかかる費用やプログラム（OS）のバージョンアップ、法改正等に伴う機能の修正費用は、保守契約の範囲に含まれているか ▶ 問い合わせに対する対応時間や対応方法は適切か ▶ 突発的な事態に対し、柔軟に対応できる受付体制となっているか	40
評価内容	8 障害対応	▶ 障害発生時のサポート・バックアップ体制は万全か ▶ 早急に復旧可能なシステム構成であるか、マニュアルは準備されているか	30
	9 導入の進め方	▶ スケジュールが明確で、実現可能なものとなっているか	20
評価内容	10 導入支援	▶ システム稼働までの導入支援体制は万全か (機器の設定、セットアップ、動作確認、操作マニュアルの提出等)	40
	11 研修体制	▶ 適切な操作研修の内容・回数・時期が示されているか ▶ 受講しやすい研修方法が示されているか	30
価格評価	12 導入費用	30点×(提案中最低価格/当該提案者の見積金額) ※小数点以下切捨て	30
	13 運用・保守費用	40点×(提案中最低価格/当該提案者の見積金額) ※小数点以下切捨て	40
合計点			400

1. 採点方法

(1) 点数は、各項目の配点に対し、下表に示すAからEの5段階評価に応じた乗数をかけ合わせて算出し、最高で400点とする。

評価段階	乗数
A：非常に優れている	100%
B：優れている	80%
C：標準的	60%
D：やや不十分	40%
E：不十分	20%

(2) 審査委員が採点した点数について、各項目の最高点と最低点を除いたものの平均点を算出し（平均の際には小数点以下を切捨て）、各項目の平均点を合計した点数を当該提案者の得点とする。

なお、同じ最高点、最低点を付けた審査者が複数いたときは、それぞれ1人分の点数を除く。

2. 応募多数の場合

応募多数の場合は、機能要件への充足度により一次審査を行い、プレゼンテーション審査の参加者として、3者選定する。

機能要件への充足度は、要件対応表（様式3）の回答を使用し、要求する機能数に対して対応可能な数により評価することとし、最高で50点を与える。

※ 機能要件の項目数には、『保守・サポート』に関する回答も含める。

$$\text{機能要件への充足度} = \frac{(\text{機能要件 項目数}) - (\text{□の合計} \times 0.3) - (\text{△の合計} \times 0.5) - (\text{×の合計})}{\text{機能要件 項目数}} \times 50 \text{点}$$

機能要件対応表 回答基準

回答	対応状況	内容
◎	標準対応	標準対応となっているもの
□	代替対応	代替機能（方法）で対応するもの
△	有償対応	有償で対応を必要とするもの ※有償費用は、初期費用に含むものとする
×	対応不可	対応できないもの